

2022年 出雲力を高めた 出雲市の主なできごと



今年も、いろいろなことがありました

総合振興計画「出雲新話2030」策定



9月、2030年のめざすべき将来の姿と、それを実現するための基本方針を示す、新たな出雲市総合振興計画「出雲新話2030」を策定しました。

策定に向けて、4月19日～5月25日に市内14か所で公聴会を開催したほか、「私の感じる『出雲力』」フォトコンテストや、「出雲力」文字デザインの公募を行いました。

「『出雲力』で夢☆未来へつなげ、誰もが笑顔になれるまち」をめざします。

和牛オリンピック 出雲市出品者が快挙！

10月6日～10日、第12回全国和牛能力共進会(和牛オリンピック)が鹿児島県で開催され、有限会社 藤増が第6区で肉質全国1位、第7区・第8区で全国2位に輝き、学生の部では出雲農林高校が全国5位と特別賞を受賞しました。

出雲市の出品者が、出品した全区で全国上位入賞の快挙を成し遂げました。



新型コロナウイルス感染症の拡大と対応

新型コロナウイルス感染症は、世界中でさまざまな変異株が確認され、国内でも感染が拡大しました。

市では、抗原検査キットの費用助成やYouTube動画メッセージで注意喚起を呼びかけるなど感染拡大防止に努めるとともに、8月からキャッシュレス決済キャンペーン、10月からは出雲のお店応援市民商品券の利用開始など経済対策も実施しました。

出雲市がトキの放鳥候補地に選定

8月5日、トキを放鳥する候補地となる「トキの野生復帰を目指す里地」に、石川県能登地方とともに出雲市が選定されました。

「トキが舞う出雲」の実現に向け、引き続き環境にやさしいまちづくりを進めていきます。



日御碕サテライトオフィス オープン

平成27年に閉校した旧日御碕小学校の一部を改修した日御碕サテライトオフィスが**3月30日**にオープンしました。

日本海を見下ろす高台に位置し、山々に囲まれた自然豊かな環境の中、万全なインターネット環境を完備し、快適なりモートワークができることから、既にIT企業5社に入居いただいています。



日本ジオパーク再認定

島根半島・宍道湖中海ジオパークは、平成29年12月に新規認定されて以降、初めての再認定審査を受け、**1月28日**に日本ジオパークとして再認定されました。

次の4年間は、市民の皆さまや企業・団体など多くの皆さまの協力を得ながら、ジオパーク活動の内容を更に向上させることで、ふるさとへの誇りと愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興につなげていきます。

ジオサイトの1つ▶
日御碕の柱状節理
(ちゅうじょうせつり)



出雲エネルギーセンターの竣工式を開催

3月20日、新たな可燃ごみ処理施設「出雲エネルギーセンター」の定礎式および竣工式を行いました。

出雲エネルギーセンターは、令和3年11月から古志町に移転し、試運転を行っていましたが、性能試験を経て、4月から本稼働を開始しています。



井上副市長 就任

かおり
7月1日、井上 夏穂里 副市長が2人目の副市長として新たに就任しました。就任式では「豊かな自然・歴史・文化など、魅力あふれる出雲市で暮らし、働けることを嬉しく思っている。国土交通省で得た経験を活かして、出雲市の発展に尽力したい。」と意気込みを語りました。



出雲科学館 開館20周年の年に 累計の入館者が300万人に到達

7月20日に出雲科学館が開館20周年を迎え、7月16日に記念式典と特別講演会を開催しました。開館以来、小・中学校の児童生徒への理科学習や市民の方への科学学習の場の提供など、理科や科学への知的好奇心を高めることで次世代の人材育成につなげていく事業を展開しており、11月13日には、入館者数が累計300万人に到達しました。



出雲そばの日(2月11日)記念日登録

出雲そば商組合と松江そば組合で組織する「出雲そばの日」記念日登録実行委員会が(一社)日本記念日協会に申請し、2月11日の「出雲そばの日」が記念日登録されました。また、3月には、世代を超えて受け継がれる食文化として、文化庁の「100年フード」にも認定され、中でも出雲そばは中国地方で唯一、有識者特別賞を受賞しました。

図柄入り「出雲」ナンバー 申込5,000台突破

出雲市・奥出雲町・飯南町の1市2町で導入し、令和2年5月から交付を開始している図柄入りご当地ナンバープレート「出雲」ナンバーの申込数が、3月に5,000台を突破しました。伝説のヤマタノオロチのように、「出雲」の名を全国にとどらせるため、普及PRに努めます。

新体育館 建設工事に着手

8月2日、県立大学出雲キャンパス東側(西林木町)の建設地にて、出雲市新体育館の起工式が開催され、令和5年12月の完成に向け、建設工事に着手しました。令和6年4月開館予定の新体育館が、市のスポーツ振興、市民の健康増進、各種イベントなどの拠点施設として、「市民に愛され、親しまれ、利用しやすい体育館」となることをめざして、引き続き事業を進めます。

文化・スポーツにおける活躍

- 福岡ソフトバンクホークス 和田毅 投手 日米通算150勝達成
- 高野脩太さん(出雲商業高校出身)千葉ロッテマリーンズ入団
- 布野智希さん(大社中学校出身)佐渡ヶ嶽部屋入門
- 永長大地さん(斐川町)第22回全国障害者スポーツ大会 ボウリング競技 少年男子優勝(大会新記録)
- 佐々木健志さん(平田高校出身)アジア柔道選手権大会(カザフスタン)81kg級 優勝
- 福田大和さん(平田高校出身)柔道スペインジュニア国際大会(マラガ)男子66kg級 優勝
- 三島まりあさん・橋本寧々さん(出雲農林高校)四国総体カヌースプリント・日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックペア 500メートル 優勝

出雲市イクボス宣言

8月24日、各地域の商工会議所、商工会、J A、森林組合、J Fの代表者や小・中学校校長会の代表者とともに、市長が「イクボス宣言」を行いました。



市長がイクボスとなり、関係団体とともに宣言することで、今後、市内の事業者や関係機関等へのワーク・ライフ・バランスの普及を図っていきます。

出雲市立総合医療センター 開設70周年

昭和27年に平田博愛病院として開設されて以来、地域医療の中心的役割を担ってきた出雲市立総合医療センターが、5月26日、開設70周年を迎え、ハナミズキの記念植樹を行いました。



9月23日には記念式典と記念イベントを開催し、11月5日には出雲市出身の先生を講師に招き、記念講演会を開催しました。

出雲神話まつり「花火大会」3年ぶり開催

8月28日、大津神立河川敷公園にて、3年ぶりとなる第17回 出雲神話まつり花火大会を開催しました。

和太鼓の演奏や、地域の子供たちによるキッズダンスなどが行われた後、出雲商業高校吹奏楽部の演奏にあわせて花火が打ち上げられ、約3万人の来場者に夏の出雲の夜空を彩る華やかな花火をご覧いただきました。



SOFT JAPAN 記念碑の除幕式

1月15日、東京2020オリンピックで金メダルを獲得されたソフトボール女子TOP日本代表「SOFT JAPAN」の皆さまをお招きし、令和元年11月の出雲キャンプ開催を記念し、出雲ドーム入口付近に記念碑を設置しました。



- 橋本寧々さん(出雲農林高校)日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックシングル 200メートル 優勝
- 片伊勢志哉さん(出雲農林高校)日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カナディアンシングル 200メートル 優勝
- 広瀬米香さん(出雲北陵高校)全国高校選抜大会 なぎなた女子個人 優勝
- 橋垣杏虹さん(中部小学校)全日本少年少女武道錬成大会 なぎなた小学5年生の部 優勝
- 斐川西中学校 第75回全日本合唱コンクール全国大会 混声合唱の部 金賞(青森市教育長賞)
- 北陽小学校 第75回全日本合唱コンクール全国大会 小学校部門 金賞